



令和6年活動報告 能登半島沖地震 能登半島豪雨災害



OPEN JAPAN 緊急支援プロジェクト
肥田 浩



自己紹介

OPEN JAPAN 緊急支援プロジェクト代表
肥田 浩 (ひ～さ～)

- ・ 2011年3月 東日本大震災で自身の誕生日に地元・東北が被災。
- ・ 現地石巻で活動している仲間からの要請もあり現地入りし、被災した神社の復旧作業などを行い祭りプロジェクトを行った。
- ・ 被災地の車中泊は3000日を超える。
- ・ 被災地では災害支援団代間の調整や、行政・社協との連携を図りながら 被災された住民さんの心に寄り添う。
JVOADの技術委員会にも所属し、平時からの減災活動にも取り組む。
- ・ トレードマークは、頭の手ぬぐい。



OPEN JAPAN とは

オープンジャパン

- ◎ ボランティア元年といわれる阪神淡路大震災の『神戸元気村』がルーツ
- ◎ 有事の際は日本全国より集まり、メンバー一人ひとりの特性や得意分野・経験を活かし、その場にあった活動・寄り添った活動を行う『ネットワーク型』の集まり。
- ◎ 拠点は宮城県石巻市。
福島の木造仮設住宅を自分たちで移設し構える。
- ◎ 令和6年能登半島沖地震では、発災翌日から現地入りし現在まで継続して滞在。役場、地域との連携を図りつつ、現地自立支援を実施。



命をつなぐ

OJ「元気鍋」炊き出しプロジェクト

(1月3日より)



瓦礫・危険物撤去プロジェクト



醤油や復活プロジェクト



三者連携打ち合わせ・活動



消防署裏湧水誘導プロジェクト



能登町役場女性専用シャワー「Re:フレッシュのと」設置＆運営



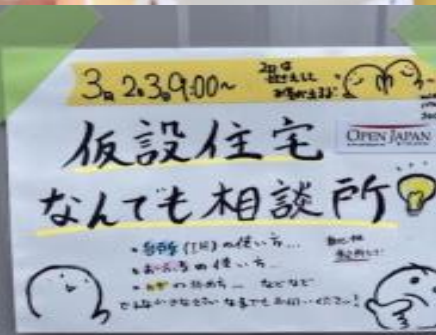
リユース食器&移動食洗機プロジェクト



能登町内給水所配水プロジェクト



仮設住宅なんでも相談所



ヘッドスパ、整体、マッサージ、体を動かすYOGAプロジェクト



コミュニティ支援



OJと仲間たち（支援物資・炊き出し食材提供・人的支援）



まつりで復活プロジェクト



オープンジャパン 令和6年能登沖地震 能登町企業分炊き出し数(1-4月)

柳田支所(公民館)			400	2/17	リンガーハット
不動寺公民館			40	1/15	コープ大分
不動寺公民館			40	1/15	コープ大分
能都中学校			650	2/8	吉野家
瑞穂公民館			600	2/9	松屋
瑞穂公民館			450	2/13	リンガーハット
松波分団署 (能登町ボランティアセンター)			650	2/6	吉野家
松波分団署 (能登町ボランティアセンター)			400	2/10	リンガーハット
小木支所・仮設	100	5/5	400	2/14	リンガーハット
なごみ奥の和室 (七見)			400	2/26	アントワークス
山村開発センター			620	1/31	吉野家
鶴川小学校			650	2/7	松屋
鶴川小学校			400	2/18	リンガーハット
いかの駅つくモール			800	2/8	松屋
いかの駅つくモール			500	2/17	大阪生協
いかの駅つくモール			400	2/28	アントワークス
いやさか広場			400	1/26	すきや
いやさか広場			400	2/8	すきや

企業名(回数)	食数
リンガーハット(5)	2,050
吉野家(3)	1,920
松屋(3)	2,050
すき家(2)	800
アントワークス(2)	800
コープ大分(2)	80
大阪生協(1)	500

連携企業	
油藤商事（エネオスグループ）滋賀県	ガソリン、軽油、灯油提供
キーン・ジャパン合同会社（KEEN）	靴、サンダル提供、社員によるボランティア派遣
パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社（パタゴニア）	衣料提供、社員によるボランティア派遣
ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社（コールマン）	物資提供、イベント開催、社員によるボランティア派遣
モトローラ・ソリューションズ	災害支援団体への無線機無償貸与およびメンテナンス
株式会社カインズ	物資提供、社員によるボランティア派遣
株式会社小松製作所（KOMATSU）	重機無償貸与
株式会社Jackery Japan（ジャクリ）	ポータブル電源、ソーラーパネル提供
アンカー・ジャパン株式会社	ポータブル電源、ソーラーパネル提供
HUNTER JAPAN株式会社（ハンター）	ボランティアへの長靴提供
新富士バーナー株式会社（SOTO）	炊き出し用機材、ガスカートリッジ提供
株式会社竹福	炊き出し用食材（ハンバーグ、牛肉）提供
株式会社ランドウェル（チャムス）	衣料提供
サラヤ株式会社	炊き出し用、掃除用洗剤提供
シャボン玉せっけん	炊き出し用、掃除用洗剤提供
株式会社エコナクラブ	炊き出し用食洗器洗剤提供
株式会社エイアンドエフ（A&F）	衣料提供
小沢ひもの店（熱海）	炊き出し用食材提供、ボランティア派遣
株式会社 徳重	携帯用ウォシュレット提供
ランドポート株式会社（キャリアザサン）	ソーラーランタン提供
株式会社今治夢スポーツ（今治FCファミリー）	今治タオル提供
株式会社ムラサキスポーツ	各営業所よりタオル提供

行政等

宮城県丸森町

職員によるボランティア派遣

静岡県川根本町

職員によるボランティア派遣

岩手県岩泉町

飲料水提供

福島県いわき市社会福祉協議会

給水車無償貸与および職員のボランティア派遣

日本赤十字秋田看護大学・短大

職員・学生のボランティア派遣および非常用物資提供

OPENJAPANとの協働による株式会社カインズの能登半島地震被災地支援活動の概要

実施日	活動の概要	活動の詳細	活動場所
1～4月 計:6回	<p>支援物資の配布等を実施</p> <p>※OPEN JAPANの現地同行等の直接的なサポート等を受けて活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あったかロールクッション3,000個を寄贈、避難所等へ直接配布 ・お客様&カインズ寄贈のペット用品を現地支援団体の倉庫へ配送 ・仮設住宅、能登役場でカフェを開設（コーヒー700杯、マフィン700個提供） ・倒壊した家屋の瓦礫撤去等 	七尾市、志賀町、能登町、輪島市、珠洲市
5～12月 計:9回	<p>小学生と避難所/仮設住宅にお住まいの方をつなぐ花の寄せ植えプロジェクト等を実施</p> <p>※OPEN JAPANのアドバイスを基に、カインズ主体で活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・珠洲市の小学校8校（計9回）で小学生、避難所/仮設住宅にお住まいの方と共に寄せ植えを実施 ・豪雨災害の被害を受けた家屋の土砂の撤去作業等（6箇所） 	能登町、輪島市、珠洲市、山形県遊佐町

現地活動回数（日数）	活動に参加したカインズの人員	延べ人数	活動人時
15回（41日）	29名	76名	1,362人時

OPEN JAPANと株式会社カインズとの連携経緯

- 1月15日、埼玉県朝霞市からの依頼を受けて、被災地へ支援物資を配送。その際、配送車の空きスペースに「あったかロールクッション」を載せ、被災者へ配布したところ、大変喜んでいただいた。
- これを受け、同クッションを被災地へ寄贈することを決定。一方で、どのように進めて良いか分からず、「JVOAD 明城様」に相談したところ、「OPEN JAPAN肥田様」を紹介いただいた。
- 「OPEN JAPAN肥田様」から、現地での支援活動の方法や宿泊拠点の提供を受け、活動をスムーズに進めることができた。

カインズの従業員が自ら搬入



カインズの従業員が避難所を訪問し、被災者へ直接配付



現地支援の様子

埼玉県朝霞市の支援物資の配送



町中であつたかロールクッションを配布



仮設住宅の集会所にカフェを開設



花の寄せ植えによる学校と地域の交流支援 豪雨災害の被害を受けた家屋の床下清掃



瓦礫の撤去作業





すぐにできることを

Action

- ・ 1月1日発災
- ・ 即座に寄付を決定
- ・ 1月4日にはSNS、メルマガを通じOJへの募金を募る投稿。。。
- ・ 1月からボランティア派遣を開始
被災された方へのシューズ提供をはじめ
OJの活動を手伝う

経験のあるスタッフと新しいスタッフが
現地へ数珠つなぎのようにいきました。
オフィス内での引き継ぎを行い
できるだけOJへ迷惑をかけずに活動できるように
心がけました。（でもたくさん迷惑かけてますが）

TOGETHER WE CAN HELP OPEN JAPAN
あなたと一緒にだから、できること

能登半島地震 災害支援

一緒に、支え合おう
寄付を受け付けています

この度の地震によりお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆さまにお悔やみを申し上げます。また、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。2024年1月1日に発生した能登半島地震を受け、KEENの災害支援パートナー団体である一般社団法人OPEN JAPANは、その当日に現場に先発隊が入り支援活動を開始しました。KEEN JAPANは直ちに活動への寄付を決定し、また、KEEN店頭における募金箱の設置をスタートいたしました。

OPEN JAPANは日本国内で発生した災害の現場にいち早く駆けつけ、被災者の心に寄り添い、重機作業や被災家屋の応急対応、炊き出し、行政とのコーディネートなど、現地で必要とされていることに即機応変な活動を行う災害支援ネットワークです。

現在、OPEN JAPANのホームページでの募金受付のほか、Tポイントなどで寄付できる「Yahoo!募金」でも皆様からの支援を受け付けています。ぜひ、OPEN JAPANの活動を一緒に応援して、現地に必要とされている支援を届けよう。

>OPEN JAPANの寄付ページ
<https://saigaishien.openjapan.net/?p=3628>

mikanagimasako、他1243人が「いいね!」しました
7日前

コメントを追加...



初動：シューズの寄付＋炊き出し

「被災した子どもたちを元気に！」

OPEN JAPANとの連携により、被災された中で中学生以下の方を対象に、避難所や学校などを巡って、KEENのウィンターシューズ約600足を提供。寒いなか着の身着のまま、ウィンターシューズを持たずに、また靴を履いていない子どもを抱えて避難した方も大勢いらっしゃり、喜んでもらうことができました。また、炊き出しなども実施しました。



1陣配布数	120
2陣配布数	196
4陣配布数	191
5陣配布数	121
合計	628



中盤：瓦礫撤去＋コミュニティとの交流

コミュニティを元気に！

数ヶ月経ち、すこし落ち着きを取り戻した現地。

避難所などでの新しい生活もスタートした皆さんや、地域の行事などを復興したい皆さんのお力になればと、災害支援と一緒におこなったのが、コミュニティでの活動です。

ミュージシャンと一緒に楽しめるコンテンツをお届けしたり、地域のお祭りのお神輿担ぎ手としても参加しました。



後半：豪雨災害への支援 泥かきだし、シューズ提供

豪雨災害支援

9月に起きた、豪雨災害。2度も被災された皆さまのもとへシューズをお届けしました。

床下の泥かきや、炊き出しなどのボランティア活動にも参加させていただきました。

来年に向けて、活動は継続していきます。



プロボノチームへのシューズ提供

最前線で活躍する、プロ・ボランティアスタッフへ
シューズの提供を行い、足元から皆さんの活動をサポート



KEEN

スタッフからの声

1. 子供たちの笑顔

子供たちが喜ぶ姿を見られたことは、この活動に参加した意義を強く感じられる瞬間だった。

2. 被災地の現状を直接知る

実際に現地に足を運ぶことで初めてわかることが多く、肌で現状を感じる貴重な体験となった。

3. KEENの活動の意義

KEENの活動を実際に体験できたことが、社会貢献活動の意義や継続性の大切さを学ぶ機会となった。

4. 感謝の言葉を通じて感じた価値

現地の方々からの感謝の言葉が心に響き、この活動がいかに重要かを実感した。

5. 経験の大きさ

実際に経験することで得られるものが非常に大きく、個人の成長にも繋がった。

6. KEENの信頼と影響力

KEENが現地での継続的な活動を行っていることは、他の企業のモデルケースとして機能していることが嬉しかった。

7. OJとの交流からの学び

OJとの対話を通じて多くの学びを得ることができ、活動を深く理解できた。

8. 仕事への影響

自分で考え、行動する力が養われ、この経験が仕事にもポジティブに活かせると感じた。





その先の笑顔のために

